

建設技能者の就業履歴や保有資格を業界統一のルールで蓄積する建設キャリアアップシステムが平成30年秋に運用開始されることを踏まえ、システムの導入が技能者の処遇改善に繋がるよう、システムに蓄積される情報を活用した建設技能者の能力評価のあり方について検討を行う「建設技能者の能力評価のあり方に関する検討会」を設置する。

1. 検討会委員

別添のとおり

2. 検討内容

- ・評価の客観性の確保
- ・技能者の能力を評価する要素
- ・評価に要するコスト（費用・時間・手間）
- ・業種間のバランス

※諸外国の能力評価制度の調査や国内の資格制度の整理も実施

※専門工事業団体へのアンケート調査も検討

※専門工事企業の施工能力の見える化への連動も視野に入れて検討

3. スケジュール

平成29年11月13日（月） 第1回検討会

12月 第2回検討会

<以後数回開催>

平成30年3月

中間とりまとめ

能力評価基準の要素

- 保有資格（キャリアアップシステムに登録される）
- 就労実績（キャリアアップシステムに蓄積される）
- 職種に応じた知識・技能 等

これらを組み合わせて評価

※カードのカラーはイメージ

評価基準に合わせて
カードを色分け



レベル1

目安：
見習い技能者



レベル2

目安：
中堅技能者



レベル3

目安：
職長・熟練技能者



レベル4

目安：
登録基幹技能者
上級職長

建設キャリアアップシステムに登録した技能者に対し個別に配布されるキャリアアップカードを、レベルに応じて色分けする

委員

| | |
|---------------------------------|--------|
| 芝浦工業大学建築学部建築学科 教授 | 蟹澤 宏剛 |
| 千葉経済大学経済学部経営学科 准教授 | 藤波 美帆 |
| (一社)日本型枠工事業協会 常任理事 | 後町 廣幸 |
| (一社)日本建設躯体工事業団体連合会 | 青木 茂 |
| (一社)日本機械土工協会 労働安全委員会委員 | 鈴木 喜広 |
| (公社)全国鉄筋工事業協会 理事 | 池田 慎二 |
| (一社)日本左官業組合連合会 理事 技術顧問 | 鈴木 光 |
| (一社)全国建設室内工事業協会 理事 | 武藤 俊夫 |
| (一社)日本電設工業協会 常務理事 | 中山 伸二 |
| 全国管工事業協同組合連合会 理事・技術部長 | 大熊 泰雄 |
| (一社)日本空調衛生工事業協会 人材委員会委員 | 安達 孝 |
| (一社)日本建設業連合会 | 能登谷 英俊 |
| (一社)全国建設業協会 業務執行理事 | 星 直幸 |
| (一社)全国中小建設業協会 常任理事 | 河崎 茂 |
| (一社)住宅生産団体連合会 工事CS・安全委員会副委員長 | 宗像 祐司 |
| 全国建設労働組合総連合 技術対策部長 | 小倉 範之 |
| (一財)建設業振興基金建設キャリアアップ運営準備室総括研究部長 | 田尻 直人 |

オブザーバー

| | |
|------------------------|-------|
| (一社)建設産業専門団体連合会 常務理事 | 道用 光春 |
| 厚生労働省職業安定局雇用開発部雇用開発企画課 | 吉野 彰一 |
| 厚生労働省人材開発統括官能力評価担当参事官室 | 奥野 正和 |
| 国土交通省住宅局住宅生産課 木造住宅振興室長 | 武井 利行 |
| 建設・港湾対策室長 | |
| 上席職業能力検定官 | |

【事務局】

| | |
|-------------------------------|-------|
| 国土交通省土地・建設産業局 建設市場整備課長 | 出口 陽一 |
| 国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課 労働資材対策室長 | 矢吹 周平 |

建設キャリアアップシステムを活用した技能者の処遇改善に向けた取組

- ・建設キャリアアップシステムの導入で確認が可能となる、技能者の保有資格及び就業履歴のデータを活用し、個々の技能者の知識や技能と組み合わせた「能力評価基準」を策定する。
- ・この能力評価基準に基づいて技能者を評価する枠組みを構築し、レベルに応じてキャリアアップカードを色分けすることで、技能者の技能や経験に応じた処遇の実現に向けた環境整備を行う。
- ・更に、この技能者の能力評価基準と連動した専門工事企業の施工能力の見える化を進め、良い職人を育て、雇用する専門工事業者が選ばれる環境を整備する

能力評価基準の要素

- 保有資格（キャリアアップシステムに登録される）
- 就労実績（キャリアアップシステムに蓄積される）
- 職種に応じた知識・技能 等

これらを組み合わせて評価

評価基準に合わせてカードを色分け

※カードのカラーはイメージ

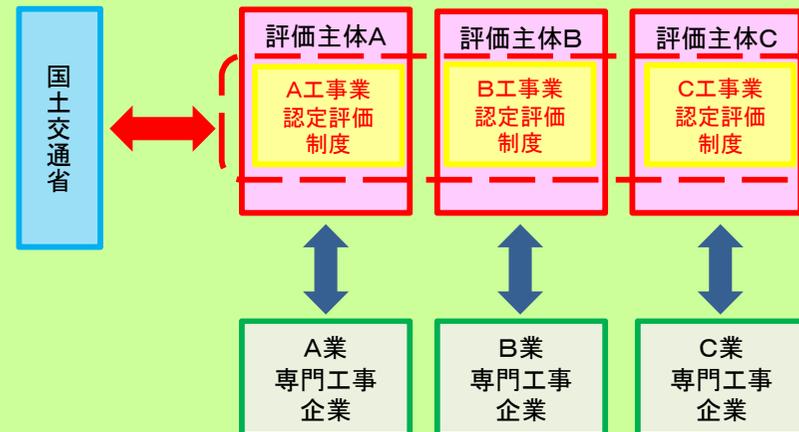


専門工事企業施工能力の見える化のイメージ

【見える化の対象項目（イメージ）】

- 所属する技能者の人数・評価
※建設キャリアアップシステムに基づく技能者の能力評価と連動
- 建機の保有状況
- 安全性（無事故期間 等）
- 処遇・福利厚生（社会保険等への加入状況 等）
- 人材確保・育成（研修制度 等）
- 地域貢献（災害復旧、地域活動への貢献 等）
- 経営状況
- その他

（将来的なイメージ）



※評価主体としては、専門工事業団体等が考えられる。
※各評価主体が行う企業評価の項目や手法についてガイドラインで定める。